

第 116 回実践勉強会 実施レポート

2020 年6月9日 大田文化の森 多目的室
共催 キッセイ薬品工業

参加者 110 名

<令和2年 6月9日(火) 実践勉強会 質疑応答>

演者:医療法人社団 しんクリニック 辛浩基 先生

演題:『2 型糖尿病の最新治療 ~合併症予防を見据えて』

【質疑応答①】

Q.インスリンと GLP1 受容体作動薬合剤についての存在意義？

A.ゾルトファイ配合剤による期待できる効果は、3 点と考えます。

- ①注射回数を減少、アドヒアランスの向上(持効型インスリン、混合型インスリン、強化療法で治療中の対象者)
- ②長期間にわたる体重増加の抑制
- ③インスリン投与量の減量、低血糖の回避(既にインスリン治療中の対象者)

【質疑応答②】

Q.メトグルコ、メトホルミン製剤の回収の影響はありましたか？

A.特に困ることはありませんでした。(院内採用にて沢山在庫あったようです。)